巻頭言

ブランド

常磐同窓会会長　**梶原雅仁**

日本の食糧自給率は、カロリーベースで四〇%前後、先進国中で最低です。私達の暮らす十勝は自給率一一〇〇%、畑作・酪畜・水産に恵まれた一次産業が基幹産業でこれを核とした関連産業が地域を支えています。しかし、世界はグローバル化が進み、二国間でのＦＴＡ（自由貿易協定）やＥＰＡ（経済連携協定）が進み、これに加えて例外無き自由貿易協定のＴＰＰ（環太平洋経済協力協定）への参加を日本の開国と位置づけ協議が始まりました。国益の為、生命の根源である食糧を他に依存し、大事な物を手放す事にならないか心配です。十勝は約百三十年の開拓の歴史の中で、多くの先人達の努力により、今日の食糧供給基地としての地位を築き上げて来たことは言うまでも有りません。今では、食の安全安心を背景に「十勝ブランド」として、日本の食に大きく貢献し、無くてはならない存在となりました。世界が幾らグローバル化に進もうと、自分達の生命は自分達で守る事を忘れては、なりません。私達が暮らす、この十勝帯広に誇りを持って行こうでは有りませんか。

卒業生諸君

卒業おめでとう。そして、常磐同窓会の入会を歓迎いたします。人生で最も多感な大事な時期に、帯広三条高校で過ごして多くの経験をして来たと思います。帯広三条高校は、もうすぐ創立百周年を迎えます。この間沢山の先輩達が、歴史と伝統を繋いできました。そして、卒業生の皆様の活躍が「帯広三条ブランド」を作り上げ、脈々と受け継がれて来ています。諸君は、新たな夢と希望を胸に、次のステップへと歩み出します。三年間培ってきた「帯広三条魂」を礎に、頑張って行く事を祈念しています。そして、新たな一ページを「帯広三条ブランド」に刻み込んで下さい。頑張る人には、頑張った答えが必ず付いてきます。健闘を祈ります。

発　行
080-2473
帯広市西23条南2丁目12番地
帯広三条高校内
TEL（0155）㊲5501
常磐同窓会公式ホームページ
http://www.netbeet.ne.jp/~tokiwa/
帯広三条常磐同窓会
会長　梶原雅仁
編　集
文化・体育部　深澤知博
事務局　香川喜義

終わりという始まり

卒業生代表　**渡辺崇弘**

卒業という言葉をこんなにも嬉しく・悲しく感じられるのは、これが最初で最後のことだと思います。三年という長くも短くも感じられた学校生活。それらが今、幕を下ろそうとしています。

思い起こせばこの学校に入学したばかりの頃、新しい生活に不安と期待でいっぱいでした。環境に慣れ始めた頃に入部した生徒会では先輩方の暖かい歓迎を受けました。多くの仲間と助け合い、生徒のために何かしたいと三年次には生徒会長に立候補しました。

最高学年になると、すべての行事で中心となり、学校生活はより充実したものとなりました。特に学校祭では、クラスでの仕事と生徒会の仕事の両立が大変であり、同時にすごく楽しかったことが今でも鮮明に思い出せます。

この三条高校で出会ったすばらしい仲間たちや環境が、今の「自分」を創ってくれたのだと思います。この三年間は私だけでなく、全校生徒のかけがえのない宝となったことでしょう。

「終わりは始まり」という言葉をよく聞きます。今、私たちの高校生活は終わりを告げます。しかし、同時に私たちの新たな生活が始まるのです。終わり行く全ては、必ず始まりへと繋がっていきます。後輩の皆さんには、終わったことで得たものを次の始まりに活かす、そんな気持ちで学校生活を楽しんでほしいです。

最後に、今まで支えてくださったすべての人に感謝します。本当にありがとうございました。そして、これからも私たちの成長を暖かく見守っていて下さい。

総会報告

昨年六月十一日にホテル日航ノースランド帯広にて、平成二十二年度の総会が開かれました。山田会長挨拶の後、平成二十一年度の事業報告・決算についての説明があり、監査報告後に承認されました。続いて平成二十二年度事業計画と予算案を審議し、承認されました。また三十六期・三十七期の新年懇親パーティーの代表幹事の方々から報告と挨拶をいただきました。さらに、役員任期満了のため、役員が改選され、新会長に梶原雅仁氏が選出されました。総会終了後、懇親会が開かれ、昔を懐かしく思い出しつつ、和やかに親睦を深めることができました。総会は毎年六月中旬に開催しておりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

同窓の絆

校長　安田宝生

昨年四月、三条高校に赴任して以来、たくさんの同窓の方々にお会いする機会がありました。様々な分野で活躍され十勝を支えている姿を見て、改めて三条高校の存在の大きさと、私も同窓の一人として母校で学んだことへの誇りを感じているところです。

また、昨年十月に行われた二年次の見学旅行における大学訪問では、生徒と共に上智大学を訪れ、第七期卒業生である石澤良昭学長さんにお会いし、後輩に熱いエールを送っていただきました。

十一月の東京常磐会にもご案内をいただき、参加者の皆様のふるさと十勝や母校への熱い思いに、たくさんの勇気をいただいて帰ってまいりました。

同窓の皆様には、様々な形で母校の発展充実のためにご支援を賜っておりますことに、衷心よりお礼申し上げます。

さて教育界は今、教育基本法をはじめ様々な関連法が改正されて教育改革が進められており、各学校においては地域に信頼される特色ある学校づくりが強く求められております。本校においても、この時代の要請に応えるべく、平成十九年度より、これまで先輩方が築いてこられた文武両道の伝統を礎に、進学重視型を目指した単位制高校に移行しました。昨年三月に卒業した一期生は、国公立大九十四名の合格者を出し、各分野に大きな成果を収めました。また、合唱部の四年連続全国大会をはじめ、様々な部活動が全道・全国大会で活躍し、単位制高校の着実な歩みは各方面から高い評価をいただいているところです。

同窓の皆様には、引き続き本校の教育活動にご支援をお願い申し上げ、ご健勝を祈念いたします。

新職員より

事務長
福原　英典

苫小牧総合経済高校より赴任してまいりました。記念館の旧校舎の模型、昔の写真を見て時代の移り変わっていくなか、三条生の文武両道の伝統がしっかり受け継がれていることを実感しております。最後の勤務校が母校となり、気持ちを新たにし、後輩の夢・希望の実現に向けて頑張りますのでよろしくお願いいたします。

数学科教諭
小林　聖明

この度、芽室高校から赴任して参りました。大阪から北海道（十勝）に来て、早十九年目となりますが、なかなか上品な大阪弁が抜けきれないので、諦めて地でやっております。

伝統あるこの良き学校で生徒とともに成長し、感動し、新しい自分にチャレンジして行きたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

地歴・公民科教諭
橋本　浩幸

今年度、釧路江南高校より赴任して参りました。前任校での勤務が長く、戸惑うこともまだまだありますが、一日も早く新しい環境に慣れ、何事にも意欲的に取り組む三条生の学習活動や部活動に、少しでも力になれるよう頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

家庭科教諭
小林　郁美

今年度、清水高等学校より赴任して参りました。新しい環境にとまどいながらも、爽やかでひたむきな三条生の姿に私自身が励まされ、一年が過ぎたように思います。

「高校卒業後の長い人生も、強くたくましく、そして豊かでありますように」と思いを込めながら、日々生徒のみなさんと向き合っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

退職者より

「退職にあたって」

養護教諭
伊藤千香子

浦幌高校から赴任して参りました。赴任してからもうすぐ一年が経過しますが、三条生の皆さんの温かさや優しさに触れる場面が数多くありました。これからも、一人ひとりとの出会いを大切に、微力ではありますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

理科教諭
川原田　徹

平成七年の四月から今日までの十六年間、本校にお世話になりました。十勝有数の伝統校に着任できた感激は今も覚えております。

当時の三条の印象は、生徒も職員もとにかくパワフル、ということです。職員会議は常に議論白熱、一日の会議では終わらないこともたびたびありました。その一方で、ソフトや野球などの職員レクは盛んで、また、何かにつけ、「打ち上げ」と称してよく飲んでいました。「三条魂」という言葉が生きていた時代です。

本校は平成十九年度より「三条の良き伝統を生かしつつ単位制のメリットを取り入れる単位制高校」としてスタートしました。四年間の成果と反省をもとに、今後の課題への取り組みによって、本校の生徒はまだまだ伸びていける可能性を秘めていると思っています。

三条の「古き良き伝統」を継承し、更なる発展を祈念します。

活躍する各部

感謝

男子バスケットボール部
小野　寛智

高校での部活動を通して強く実感したことがあります。それは、「たくさんの人に支えられている」ということです。十勝大会で準優勝、また、全道大会へ出場できたのは、共に頑張り合えた仲間、いつも応援していただいた保護者の方々はじめ多くの御支援があったからだと思います。そして、毎日熱心に指導して下さった福田先生、小野寺先生には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

三年分の感謝

女子ハンドボール部
川上　奈月

私たちは全国大会に出場することを目標に練習をしていましたが、あと一歩というところで達成できませんでした。悔しさは今でも残っていますが、このような経験ができるのは当たり前のことではないと思います。満足な練習ができる環境に恵まれたことや指導してくださった先生方、一緒に闘った仲間、そして両親への感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

充実の一年

合唱部
長瀬ちあき

今年度のコンクールでは四年連続、全国出場を決めることができました。全国大会の舞台で悔いのない演奏ができたことはこの上ない、最高の思い出です。

私は合唱部での活動を通して自分に負けずに挑戦し続ける大切さを学ぶことができました。このような貴重な経験をさせて頂いたのも先生方、ご協力・ご支援して下さったたくさんの方々のお陰です。本当にありがとうございました。

支え

写真部
矢嶋　心

私は、三年間の部活動で嬉しい事、悔しい事を両方経験しました。三条写真部で十年ぶりとなる全国大会出品が決まった事、宮崎県で口蹄疫が流行したため現地に行けなかった事です。しかし周りの方々に応援して、支えて頂きとても感謝しています。たくさんの力を培うことが出来ました。

いつも私たち部員のことを気にかけ、励ましてくださった齊藤先生。ありがとうございました。

NEXUS～絆～

放送局
黒沼　麻衣

次の目標はNHK杯全国高校放送コンテストで決勝進出。一昨年、昨年は準決勝まで進みましたが、今年はあと一歩足りませんでした。しかし、その中で結果にも勝るとても大切な過程を学ぶことができました。放送局を通して「伝える楽しさ」を全身で実感したこと。いつも励まし合い共に頑張りぬいた仲間の存在があったこと。素敵な仲間と先生、みんなでまた一つ歴史を刻んだこと、心から誇りに思います。本当にありがとうございました。

同窓会　この一年

4月30日	同窓会奨学生決定
5月11日	同窓会奨学生認証式（12名）
5月14日	役員会（とかち館）
6月11日	総会並びに懇親パーティー（ホテル日航ノースランド帯広）
6月～8月	全道・全国大会出場の部活動に援助 会費納入案内・会報発送
8月29日	同窓会ゴルフ大会（於：帯広国際CC）
1月15日	新年懇親パーティー（幹事：第37期生、昭和62年3月卒）
3月 1日	同窓会新聞・常磐木発行 同窓会入会式（第61期生入会）

※上記以外に、各地で支部の活動や部活動OB会の活動が行われています。

部活動の活躍（2010年度）

バレーボール部(男子)　高体連地区 第3位　選手権十勝予選会（旧名 春高バレー） 第3位
バレーボール部(女子)　高体連全道 ベスト16　選手権全道（旧名 春高バレー） ベスト8　新人大会全道 出場
バスケット部(男子)　高体連全道 出場　東北海道大会（十勝、釧路、北見） 第3位
選抜優勝大会全道 ベスト8　新人戦全道 ベスト16
バスケット部(女子)　高体連地区 第3位　東北海道大会（十勝、釧路、北見） 出場　新人戦全道 ベスト16
ハンドボール部(男子)　高体連全道 出場　新人戦北北海道大会 出場
ハンドボール部(女子)　高体連全道 出場　新人戦北北海道大会 第3位
テニス部（男子）　高体連全道 団体ベスト8、ダブルス・シングルス（2名）ベスト16
新人戦全道 団体ベスト8、シングルス出場、ダブルス2回戦進出
第32回全十勝室内ジュニア単テニス大会18才以下 準優勝、第3位
テニス部（女子）　高体連全道 団体第3位、シングルス ベスト16（2名）、ダブルス ベスト8・16
新人戦全道 シングルス ベスト16、ダブルス 第3位
第32回全十勝室内ジュニア単テニス大会18才以下 優勝、準優勝、第3位
バドミントン部(男子)　高体連全道（北北海道） 団体・シングルス出場　北海道選手権大会 ダブルス出場
十勝毎日新聞社杯秋季大会 シングルス・ダブルス ベスト4　新人戦北北海道大会 団体・ダブルス出場
バドミントン部(女子)　高体連全道（北北海道） 団体、シングルス・ダブルス出場　北海道選手権大会 ダブルス ベスト8
十勝毎日新聞社杯秋季大会 ダブルス第3位　新人戦北北海道大会 団体・ダブルス ベスト8
卓球部（男子）　高体連全道 シングルス出場　北海道選手権大会 シングルス3回戦進出
卓球部（女子）　高体連全道 シングルス・ダブルス2回戦進出　新人戦全道 シングルス出場
ソフトテニス部　高体連全道 個人出場　新人戦全道 シングルス出場　全十勝高等学校インドアソフトテニス大会 女子ダブルス 5位(3組)全道大会へ
アイスホッケー部　北北海道前期地区予選 第5位　全十勝選手権 第4位
陸上部　高体連全道 棒高跳び 第7位　新人戦全道 女子100m 第7位、女子1500m 決勝進出、男子ヤリ投 第8位
剣道部　高体連全道 女子団体・女子個人出場　国体全道 男子1名、女子1名出場
新人戦十勝支部 男子団体準優勝（全道大会出場）
野球部　高野連春季十勝支部 3回戦進出　高野連選手権十勝支部 2回戦進出　高野連秋季十勝支部 2回戦進出
アーチェリー部　インターハイ（沖縄大会） 個人戦ベスト16　全国大会（3月） 2名出場決定　新人戦全道 男子団体優勝
サッカー部　高体連地区 決勝進出　選手権大会十勝地区予選 2回戦進出　プリンスリーグ道東ブロック 第6位
吹奏楽部　北海道吹奏楽コンクール 銀賞　北海道管楽器個人コンクール 銅賞　北海道アンサンブルコンクール 銀賞
合唱部　全日本合唱コンクール北海道支部大会 金賞、北海道教育委員会教育長賞
全日本合唱コンクール全国大会 銅賞　NHK全国学校音楽コンクール北海道ブロックコンクール 銀賞
美術部　高文連全道 全道優秀賞1名、入選4名　学生美術全道展 入選2名　第4回道展U21 奨励賞
書道部　高文連全道 北海道高等学校文化連盟賞3名（うち1名全国大会へ）、優秀賞
国際高校生選抜書展 秀作賞1名、入選1名　北海道学生書道展 推薦賞3名
華道部　十勝支部研修交流会 参加
演劇部　管内高校演劇祭（春・冬） 出場　ストップ・ザ・いじめ　子ども会議 ゲスト出演
第60回高文連十勝支部演劇発表大会 優秀賞
第60回全道高等学校演劇発表大会 十勝支部代表生徒講評委員参加
インターネット上の有害情報から青少年を守る道民フォーラム ゲスト出演
仲良しコミュニケーション活動全道フォーラム メインフォーラム十勝代表ゲスト参加
フィールドサイエンス部　高文連全道理科研究発表大会 生物部門（フィールド）奨励賞、生物部門（ラボ）努力賞
帯広畜大高大連携事業理科ふれあいフェスティバル 最優秀プレゼンテーション賞
写真部　全国総文祭 高文連賞　高文連全道写真展 入選1、佳作4
茶道部　高文連野点研修会 参加　高文連茶会研修会 参加
スケート部　北海道強化選手2名　帯広の森スケート競技会 女子1500m 第4位、女子1000m 第6位
苫小牧ハイランド競技会 女子3000m 優勝・第3位、男子3000m 第5位
北海道高等学校スケート競技選手権大会 女子3000m 第5位、女子1500m 第8位、女子総合 第4位
全国高等学校スケート競技選手権大会（インターハイ） 男子2000mリレー 第8位、女子3000m 第7位
全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 男子パシュート 第6位、女子総合 第15位、女子スプリント 第15位
図書局　全道図書館報コンクール 奨励賞
放送局　NHK杯全道 決勝進出（アナウンス部門）
第33回高文連放送コンテスト全道大会 ラジオ番組部門 第4位・優秀賞、ビデオメッセージ部門 第11位
高等学校ラジオ作品コンクール 全国 第9位
東海ラジオ高校生ラジオ作品コンクール ラジオ番組「伝言ゲーム」努力賞、アナウンス部門 努力賞
第7回高校生平和祈念ビデオ制作コンクール Aチーム作成作品 入賞、Bチーム作成作品 努力賞、Cチーム作成作品 優秀賞
（その他）　第31回北海道高等学校英語弁論大会十勝地区大会 最優秀賞（全道大会へ）

●各支部の近況●

札幌常磐会

春の三柏ゴルフ大会、そして秋の三条同窓ゴルフ大会とゴルフでの親睦が同窓並びに柏葉ＯＢとの恒例行事となっています。同窓会は数年に一度開かれています。他に有志による会も年四回開かれ、同窓の絆を深めています。札幌では多くの同窓生が政・官・財で活躍しています。

上田札幌市長や清水誠一道議も同窓生の一員としてよく参加してくれ、会を盛り上げてくれます。

未参加の方は、是非ご参加下さい。

会　長　光地勇一氏
石狩市花川区五条一丁目一〇二
☎　〇一三三―七四―三三九九（自宅）
☎　〇一一―二一八―一二三三
（アーバンビル社長：直通）
ＦＡＸ〇一一―二四一―二二一四
事務局　本村孝幸氏
札幌市中央区南四条東五丁目一―九
リサイクルファクトリー（株）内
☎　〇一一―二七一―六七五五
ＦＡＸ〇一一―二四一―二三六二
E-mail：hc.motomura@gmail.com

幕別三条会

幕別三条会は、幕別町在住の三条同窓生で組織し、会員相互の親睦と交流を図ることを目的に活動しています。昨年は札内の（竹葉寿司）において総会を開催いたしました。近年若い人たちの参加がなく、寂しい思いがいたします。これも時代の流れかなと。さて私たちの幕別町は、私と同期の岡田和夫さんが町長で幕別町発展のため一生懸命努力されており、その手腕は高く評価されております。パークゴルフ発祥の地幕別町に住んでみませんか。

三条の後輩の方々も文武両面で活躍いたしておりますことを、大変うれしく思っております。

どうぞ、三年間、良い思いでをつくってください。

会　長　後藤光博氏（昭和三十九年卒業）
中川郡幕別町札内暁町二七一―九十三
☎　〇一五五―五六―四七五一
事務局　妹尾　真氏
中川郡幕別町新町一二二―二十三
☎　〇一五五―五五―二九八二

帯広三条・東京常磐会

帯広三条高校・東京常磐会総会・二〇一〇年度総会は昨年十一月二十七日、新宿副都心に聳えるホテル・ハイアットリージェンシー東京で開催しました。「一声一〇〇人」をモットーに再出発して六年。その目標、一〇二名が出席した総会・懇親会はやはり壮観です。平成時代の卒業生も参加するようになり、昭和二十年代から平成まで文字通り三条高校の歴史をそのまま東京に移したような同窓会へと密度を高めています。今年の総会には我々の「臍（ヘソ）」とも云うべき三条常磐会から梶原雅仁会長をはじめ谷脇正人幹事長、前任会長・山田英和氏に安田宝生校長とにぎにぎしくご出席戴き、母校との絆を改めて強く実感しました。また今回も女優・平淑恵さん（今年は一人芝居「化粧」に挑戦中）、タレントの中川和恵さんが参加されて懇親会は華やかな賑わいを見せました。

今後とも東京三条会は母校・三条高校の活気ある資産となるべく懇親の輪を広げたいと念じています。

〈文責〉会長・多田　護

会　長　多田　護氏
千葉県千葉市美浜区
真砂三丁目十八―一―三〇一
☎　〇四三―二七八―一二〇一
☎　〇四三―二七七―七九〇四
事務局　伊賀雄史氏
東京都中央区日本橋室町一丁目
五番十五号昇賢ビル三階
伊賀土地家屋調査士事務所内
☎　〇三―六二二四―一五五五
ＦＡＸ〇三―六二二四―一五五六

校歌斉唱

東京定時制常磐会

平成二十二年も終わり新しい年を迎えました。

昨年の私たちの同窓会を、平成二十二年十一月二十七日に開催いたしました。

参加者もだんだん少なくなり、今後どうするか迷っています。

というのも出席者もだんだん少なくなり、今回の出席者が私を含め四名でした。一期生の二名の出席で開催することに致しましたが、後、私の五期生、十八期の一人でした。

かえって、飲んで食べて三時間、話に花が咲いたと言うか昔の話から近況のお話まで、此処はカラオケ店なのに歌は一曲だけでした。

一期生の方々は七十八歳になるでしょうか？ますます元気で居られ終わりに、又の再会を約束し別れました。

私達、東京定時制は若い世代の方がいませんので、先々を考えるとちょっと心配です。

最後に、同窓会の皆様、常磐木新聞の関係者、三条高校の先生方、現役の学生の方々の健康とクラブ活動の活躍をお祈り致しております。

会　長　森下芳夫氏
東京都小平市天神町二丁目
三五四―三―二〇二
☎　〇四二―三四七―二一九二

道庁常磐会

会　長　山本武雄氏
札幌市中央区大通東九丁目
一―十九―三〇七
☎　〇一一―二四二―一三八六

三条姉妹常磐会

会　長　三田千代氏
音更町大通り五丁目三

芽室常磐会

平成二十二年二月四日、芽室常磐会の新年会を十七名の参加で開催いたしました。新年会では、平成二十三年一月十五日に新年懇親パーティーの幹事を担当する三十七期の方よりご協力のお願いがありました。

平成二十二年七月四日、昨年開催できませんでしたパークゴルフ大会を実施いたしました。参加者は六名と少なかったのですが楽しく交流をする事が出来ました。また、懇親会は、野外で行い日が暮れるまでお酒を酌み交わしながら楽しいひと時を過ごしました。

平成二十二年十一月二十七日、芽室常磐会総会が開催されました。十六名の参加者で総会議案の審議を行い、総会終了後懇親会を実施致しました。平成十六年に会が発足して六年目となり、今回の総会にて一名の新入会員を迎え入れ現在では、四十名の会員数となりました。

芽室の中で常磐同窓会の和が少しずつ広がっていますことをご報告いたします。

会　長　神谷和明氏
芽室町東七条二丁目一
☎　〇九〇―五二二〇―〇〇九一
事務局　江崎　満氏
芽室町東三条二丁目八
☎　〇九〇―八九〇八―三四八一

再会そして感謝

第三十七期代表幹事
江崎　満

平成二十三年一月十五日、沢山の来場者は待ちわびた友の再会に頬を緩ませながら笑顔で会場の中に入って行く。例年とは違ったオープニングを皮切りに同窓会長・来賓祝辞そして乾杯と淡々と進むそれぞれのシーンに一年間の様々な思いが脳裏を駆け巡る。応援歌のイントロが場内に響きわたる瞬間、この一瞬に立ち会えた事に身震いを感じた。そして、万歳三唱でのフィナーレ。

再会とは、「長く別れ別れになっていた人どうしが、再びめぐりあうこと。」言葉の意味をこれ程実感した事は無かったであろう。

幹事としての役割は、常磐同窓会新年懇親パーティーにご参加して頂いた皆様を楽しませたり、喜ばせたりすることである。しかし、この懇親パーティーで最も楽しみを得られたのは、三十七期の私達だったのではないかと今は感じる。

数年前より幹事年度が近づくにつれ、このことには触れないようにしていた自分がそこにいた。出来れば関わらず過ぎ去ってもらえれば助かるとも感じていた。

しかし、パーティー終了後同級生達の笑顔を見ると、この事業に関われた事に喜びと嬉しさを感じた。

そして、来場者が笑顔でパーティー会場から立ち去る姿にも喜びを感じた。

「よかったですよ。今日のパーティー」と頭を深々と下げてくれる方々に心から感謝を伝えたい。「皆さんのお陰で私達三十七期は、沢山の再会が果たせました。こちらこそ本当にありがとうございました。」

一月十五日の新年懇親パーティー開催に多大なるご協力を頂いた皆様方に感謝申し上げると共に常磐同窓会の今後益々のご発展と会員皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

卒業生の進路（過去3年間）

国公立大学

■道内
●北海道大学
●札幌医科大学
●旭川医科大学
●小樽商科大学
●北海道教育大学
（札幌・岩見沢・函館・旭川・釧路）
●室蘭工業大学
●北見工業大学
●帯広畜産大学
●釧路公立大学
●公立はこだて未来大学
●札幌市立大学
●名寄市立大学

■道外
●弘前大学
●秋田大学
●岩手大学
●山形大学
●東北大学
●信州大学
●茨城大学
●宇都宮大学
●埼玉大学
●富山大学
●三重大学
●横浜国立大学
●奈良教育大学
●長崎大学
●静岡県立大学
●首都大学東京
●山形県立大学
●秋田県立大学
●青森県立保健大学
●岩手県立大学
●都留文科大学
●高崎経済大学
●島根県立大学
●長崎県立大学
●群馬県立女子大学
●高知女子大学
（その他）

短期大学

■国公立
●市立名寄短大
●秋田県立短大
●岐阜市立女子短大

■私立
●北星学園大学短大部
●北海道武蔵女子短期大学
●大妻女子短期大学
（その他）

私立大学

■道内
●北海学園大学
●北星学園大学
●藤女子大学
●北海道医療大学
●天使大学
●北海道薬科大学
●日赤北海道看護大学
●酪農学園大学
●札幌大学
●旭川大学
●北海道文教大学
●北翔大学
●北海商科大学
●札幌学院大学
●札幌大谷大学
●北海道工業大学
●札幌国際大学
●千歳科学技術大学
●道都大学
（その他）

■道外
●学習院大学
●青山学院大学
●東京女子大学
●法政大学
●中央大学
●明治学院大学
●東京理科大学
●立命館大学
●関西大学
●同志社女子大学
●京都産業大学
●国立音楽大学
●東京音楽大学
●武蔵野美術大学
●京都外国語大学
●関西外国語大学
●日本大学
●日本体育大学
●東京女子体育大学
（その他）

高等看護学校

●帯広高等看護学院
●北海道社会事業協会帯広看護専門学校
●国立病院機構西札幌病院附属札幌看護学校
●旭川厚生看護専門学校
●釧路労災看護専門学校
●昭和大学医学部附属看護専門学校
（その他）

■常磐同窓会役員■

会　長　梶原　雅仁（昭50年卒）
直前会長　山田　英和（昭41年卒）
副会長　金澤　耿（昭41年卒）
副会長　鈴木　慎一（昭49年卒）
副会長　松本　健春（昭48年卒）
副会長　嶋崎　隆則（昭50年卒）
副会長　矢吹　定夫（昭50年卒）
監　査　村上　剛章（昭50年卒）
監　査　河合　敏（昭56年卒）
幹事長　谷脇　正人（昭59年卒）
総務部長　児玉　康博（昭56年卒）
厚生部長　高田　浩司（昭53年卒）
文化体育部長　深澤　知博（昭50年卒）
学校部長　藤田　篤哉（昭57年卒）
組織部長　仁木　雄人（昭58年卒）
事務局長　香川　喜義（昭55年卒）
事務局次長　水崎　忍（昭56年卒）
会　計　立浪　哲也（昭57年卒）
　　福原　英典（事務長）

■同窓会幹事■

平成23年3月卒業生（第61期）

1組　斉藤　雄也／小笠原のどか
2組　深井　大貴／中本　優希
3組　小野　健智／上野　菜摘
4組　馬渕　錬／初山　加奈
5組　宮本　信也／嶋　美里
6組　小野　寛智／黒沼　麻衣
7組　進藤　秀一／阿部南理恵
8組　佐藤　雄大／齊藤　由依

常磐同窓会奨学金について

本会では就学困難な在校生徒に対して一人月額八千円（年間九万六千円）（返還の義務は不要）の奨学金を支給しています。（育英会会計より支出）支給人数は十名程度です。申込みは単年度ごとで、毎年四月上旬に募集し、同窓会学校部を含めた奨学運営委員会において奨学生を決定しております。

同窓会新入会員
男子　136名
女子　175名
合計　311名

同窓会員総数
26,609名

平成22年度
体育・文化後援会特別会計（甲子園基金）
中間決算　平成22年12月末日現在

前年度繰越金	306,693円
預金利息	33円
計	306,726円
支出	
全国大会出場横幕	39,900円
計	39,900円
差引残高	266,826円

編集後記

「新しき自分を！新しき栄光を!!新しき伝統を!!!」をスローガンに掲げ、生徒一人一人の将来の夢の実現のため、日々邁進しております。

同窓会の皆様の格別な御支援を賜り、今年度も多くの部・局が全国・全道大会で活躍し、輝かしい成績を残すことができ、深く感謝申し上げます。

また、原稿の依頼に際しては快くお引き受け頂き、ここに同窓会誌第五十五号を発行することができました。心よりお礼申し上げます。